【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和5年11月15日(2023.11.15)

【公開番号】特開2021-145134(P2021-145134A)
【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2021-045
【出願番号】特願2021-86144(P2021-86144)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ 23/36(2006.01)
Ｈ０５Ｋ 7/20(2006.01)
Ｃ０８Ｊ 5/18(2006.01)
Ｂ２９Ｄ 7/01(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ 23/36 D
Ｈ０５Ｋ 7/20 F
Ｃ０８Ｊ 5/18 ＣＥＲ
Ｃ０８Ｊ 5/18 ＣＥＺ
Ｂ２９Ｄ 7/01

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月7日(2023.11.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
高分子マトリクス中に鱗片状充填材を含む熱伝導性シートであって、
前記高分子マトリクスがシリコーンであり、前記鱗片状充填材が鱗片状窒化ホウ素であり、さらに非異方性充填材を含有し、
前記鱗片状充填材が、鱗片面の長軸方向が、前記熱伝導性シートの厚さ方向である第１の方向及び前記第１の方向に垂直である第２の方向のいずれか一方に沿い、かつ前記鱗片面において長軸方向に垂直となる横軸方向が、前記第１の方向及び前記第２の方向の他方に沿うように配向し、
前記鱗片状充填材の前記横軸方向の長さに対する、前記長軸方向の長さの比（長軸方向の長さ／横軸方向の長さ）で表される第１のアスペクト比が１以上５以下である、熱伝導性シート。
【請求項２】
前記鱗片状充填材は、前記長軸方向が前記第１の方向に沿い、かつ前記横軸方向が前記第２の方向に沿うように配向する請求項１に記載の熱伝導性シート。
【請求項３】
前記鱗片状充填材は、前記横軸方向が前記第１の方向に沿い、かつ前記長軸方向が前記第２の方向に沿うように配向する、請求項１に記載の熱伝導性シート。
【請求項４】
前記第１のアスペクト比が１．５以上である請求項１～３のいずれか１項に記載の熱伝導性シート。
【請求項５】
前記鱗片状充填材の平均粒径が２０μｍ以上である請求項１～４のいずれか１項に記載

の熱伝導性シート。
【請求項６】
前記高分子マトリクス中にさらに繊維状充填材を含む請求項１～５のいずれか１項に記載の熱伝導性シート。
【請求項７】
前記繊維状充填材が、炭素繊維である請求項６に記載の熱伝導性シート。
【請求項８】
複数の単位層を有し、かつ前記複数の単位層のうち、少なくとも１つが前記鱗片状充填材を含み、
複数の単位層が、前記第１及び第２の方向に垂直な第３の方向に沿って積層される請求項１～７のいずれか１項に記載の熱伝導性シート。
【請求項９】
請求項１～８のいずれか１項に記載の熱伝導性シートの製造方法であって、
前記高分子マトリクスの前駆体である樹脂と、前記鱗片状充填材とを含む混合物を調製する工程と、
前記混合物を流動配向処理して、前記鱗片状充填材を配向させつつ、１次シートを得る工程と、
前記１次シートを積層して積層ブロックを得る工程と、
前記積層ブロックを積層方向に沿って切断する工程と
を備える熱伝導性シートの製造方法。